

道徳通信

～「撮れなかった1枚の写真」～



愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年3月9日の授業

～～「よりよく生きるとは、どのような生き方だろう」について考えました～～

フォト・ジャーナリストの吉田レイ子さんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を通して、人としてよりよく生きていくことについて考えました。吉田レイ子さんは、ベトナム戦争で避難する人々を撮影していました。赤ちゃん子どもを連れた母親を「絵になる!」と撮ろうとしたとき、母親は子どもの顔を隠し、自分もレンズから顔を背けました。

あと1cm指を動かすだけなのに…。シャッターを押すことができず、冷や汗が流れます。撮りたかったのに撮れなかった。伝えるべき真実を撮れなかった自分はプロとして失格だ…と悩みます。その後、あの写真は撮らなくてよかったのだ、事実を見たことが重要だったのだと考えるようになりました。吉田さんは、「フォト・ジャーナリストである前に一人の普通の人間でありたい」と思うのでした。

文章を通して、人間の弱さや強さについて考えました。弱さと向き合い、なお気高くあろうとする吉田さんの心情に思いを馳せ、人間として「よりよく生きる」とはどういう生き方か考えを深めました。

◎ あなたなら、母と子の写真を撮りますか？

撮る	撮らない
●● ●●さん 世界ではこんな悲惨なことが起きていますよってみんなに知らせるため。	●● ●●さん 苦しんでいる人を撮って、賞を獲っても嬉しくないから。
●● ●●さん 撮りはするが、撮った写真は自分で持っておいて、辛いことがあったときにこの写真を見て世界中には自分なんかよりも苦しんでいる人があるというのを思い出すようにするから。	●● ●●さん プロとしては撮ったほうが世の中にその苦しさを伝えていけるけど、人間としてはちょっとないかなって思うから撮らない。つまり無理やり撮るってことだから道徳心に反する。
	●● ●●さん 母の強い意志を尊重したいと思ったから。

◎ 授業を振り返って…「よりよく生きる」とはどのような生き方だろう。

●● ●●さん

人それぞれが良いと思うこと、より良いと思えることを選択すれば良いと思った。

●● ●●さん

自分が後悔しないように自分の意志で生きる。

●● ●●さん

授業前は、自分の生きたいように生きることだと考えていた。今は、自分が思ったことを最後まで突き通す。でも自己中心的にはならないように、相手の気持ちも考えて行動する。

●● ●●さん

授業前は、自分が良ければいいという生き方だと思っていた。

今は、生き方はたくさんあるけど、最後にお互い幸せになることがよりよく生きる生き方だと思った。自分も相手の気持ちを考えて生きていきたい。

●● ●●さん

よりよく生きるとは、人に左右されずに我が道を行くことだと思う。自分の選択が正しいか正しくないかとかじゃなくて、その選択をした後でどのような行動をとるかが大事だと思った。自分の意志で生きていけば、より自分らしく、いい生き方ができると思った。

●● ●●さん

何事にも相手のことや自分のことを考え、最善の選択をしてたまにはミスをしながらか成長していくこと。そうすることで見えてくるものや、知るものが出てくると思うから。